

平成31年度学校自己評価システムシート（県立松伏高等学校）

目指す学校像	学力の定着及び向上と、専門的な技術・能力の伸長を図るとともに、幅広い社会性を身につけさせ、地域に信頼され貢献できる人材を育成する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程や学習指導計画及び授業の工夫・改善を進め、学ぶ意欲と学力を向上させる。 2 キャリア教育を進め、高い進路意識を育み、進路希望を実現できた生徒の割合を高める。 3 生徒会活動や学校行事の質を高め、部活動を活発化させる。 4 規律を重んじ、地域に信頼され貢献する教育活動を推進する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 （ 2 月 1 日 現 在 ）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習時間絶対量が少ない現状があり、学習習慣の定着と学習時間増加のために組織的な取組が課題 教員の授業力向上に対する意識は高まっている。更に視野を広げるための取組が課題 引き続き、新教育課程の点検・検証を行うことが必要 	組織的な取組による生徒の学ぶ意欲と学力の向上	<ol style="list-style-type: none"> ①放課後等の進学補習を通年で実施する。 ②小テスト・宿題等の量を増やす。 ③長期休業中の進学補習では、時期を調整するなど受講しやすい状況を工夫する。 ④読書活動の活発化と図書館の有効利用を進める。 ⑤授業力向上のための教員相互授業観察と公開研究授業を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①検定や受験に対応できたか。 ②生徒の学習時間が増加したか。 ③開講講座数・受講生徒数が増加したか。 ④本の貸出数と図書館利用が増加したか。 ⑤実施前後で参加者の意識が変化したか。 		
		授業力向上のための取組				
		新教育課程の点検と検証	<ol style="list-style-type: none"> ①選択科目の講座展開をシミュレーションし、開講最低人数等を検討する。 ②全体検証を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②2学科1コースの特色を生かした教育課程となり生徒の進路希望等のニーズにこたえられたか。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者に対する進路指導は充実している。一方で進学希望者に対する進路指導の工夫改善が急務 大学進学希望者に対しては、大学入試改革に対応した組織的かつ計画的な取組が課題 	系統的なキャリア教育の推進と進路実現に必要な学力の向上	<ol style="list-style-type: none"> ①系統的・組織的な進路指導を継続する。 ②外部講師を活用する。 ③次年度から実施される共通テストに対応した指導を行う。 ④進路決定後の指導を強化する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②生徒の進路希望が実現できたか。 ③各組織が連携し計画的に指導できたか。 ④継続的な指導ができたか。 		
		進路実現に必要な各種検定試験や高度な資格取得	<ol style="list-style-type: none"> ①合格のための補習体制を構築する。 ②各種検定結果や資格取得のデータを校務支援システムに蓄積する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①各種検定試験合格者が増加したか。 ②蓄積したデータを調査書や指導要録作成に活用できたか。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動部を中心に活発に生徒会活動が行われているが、部活動加入率が低下している。部活動加入率と退部者を減らし生徒の課外活動の充実が課題 特に、運動部の退部率が高くなっている。部活動ガイドラインに沿った活動内容・計画の改善が必要 	生徒会活動と学校行事の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒会行事や、それに伴う準備を生徒主体で行い、企画力や行動力を高める。 ②生徒会を中心にボランティア活動に積極的に取り組ませる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①②各学校行事（演奏会）の充実が図られたか。松華祭の来場者が増加したか。 ②ボランティア参加者が増加したか。 		
		部活動の活発化	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動の意義を学校全体で共有し、活発化させる。 ②各部活動がガイドラインに沿って活動の計画、実行をする。 ③各部活動が学校行事等に積極的に参加する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動加入率が向上したか。また途中退部者を減らせたか。 ②部活動計画表に予定・実績を記録し、活動を客観的にデータ化できたか。 ③学校行事等の参加が増えたか。 		
4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自律や規律を重んじる態度を身につけさせるため、職員の共通理解に基づいた組織的かつ統一的な指導の徹底 生徒の安全に対する意識は向上し事故率は低下しているが、交通安全については継続的な指導が必要 ボランティア活動に積極的に参加する生徒が増えているが、偏りがある。多くの生徒を参加させる取組が課題 生徒募集に関して時代のニーズに合わせた情報発信方法の工夫が課題 	挨拶・遅刻・服装等規範意識の醸成と生徒の命を守る交通安全指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> ①全職員が、その場で改善させる「その場指導」を徹底する。 ②登校指導・昼の巡回指導・下校指導を組織的に行う。 ③効果的な交通安全教室を計画・実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①身だしなみの状況がより向上したか。 ②生徒指導件数が減少したか。 ③交通事故件数が減少したか。 		
		松伏町関係機関（小・中学校含む）や地域・保護者と連携し地域活動に参加するとともに、本校の魅力発信	<ol style="list-style-type: none"> ①地域行事への参加や小中学校との交流を行う。 ②「松高Times」を月に一度の定期発行に加え、号外を発行する。 ③学校説明会の内容や申込方法等を改善する。 ④松伏高校の特色や魅力を積極的に広報する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①地域交流が活発に行われたか。 ②松伏高校の学校行事や生徒の活動（特色や魅力）を分かりやすく伝えられたか。 ③④学校説明会の参加者数と入学志願者数が増加したか。 		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		